

脊椎外科フェロー募集

1. 診療科責任者

センター長 長谷川和宏

2. クリニカル・フェロー指導医

- 長谷川和宏
- 本間隆夫
- 下田晴華

いずれも日本脊椎脊髄病学会指導医

3. クリニカル・フェロー採用条件

- 1) 日本整形外科学会あるいは日本脳外科学会 専門医
- 2) 身分 常勤医師
- 3) 外勤の許可等 ①外勤 不許可 ②宿舎 応談
- 4) 給与総額 卒業年度に応じた常勤医師給与（例：卒後10年目 月給104万2千円）各種社会保険加入有り
- 5) 受入れ時期 随時
- 6) 期間 2年以上が望ましい
- 7) フェロー採用に関する特記事項

必須事項：医師免許、履歴書(研修経歴、発表論文)

* 申請書類選考の後、面談を実施し、この結果に鑑みて採用を決定

4. 日本脊椎脊髄病学会認定クリニカル・フェロー指導の概要

別紙1 参照

署名



令和3年3月
調書記載者 長谷川和宏

別紙 1

日本脊椎脊髄病学会認定クリニカル・フェロー指導の概要

1. 学会指導医が下記内容について直接指導する

- ・ 患者との接し方、診察法、画像診断を身につけ、一般的疾患の理解を深めながら、基本的診断法を身につけること
- ・ 手術適応となる全ての脊椎・脊髄疾患に対して、最も効果的なアプローチを行い、神経除圧もしくは病変切除、脊柱再建を行うこと
- ・ 疾患別の術後療法を習得
- ・ 術後経過観察方法、および評価法を習得
- ・ 自らが行った治療例をまとめて報告する
- ・ 習得すべき項目
- ・ 患者面接技術
 - 神経診断学
 - 脊椎外科のための解剖学
 - 脊髄のマイクロサージャリー
 - 脊椎外科に関するバイオメカニクス
 - 脊椎インストゥルメンテーション手術
 - 脊髄モニタリング
 - 脊椎内視鏡手術のための解剖と基本手技
 - 脊椎脊髄疾患のリハビリテーション

2. 手術療法の各論研修内容

- ① 後頭骨から骨盤までの各種徐圧、固定術
- ② 前方及び後方の各種アプローチ
- ③ 頻度の高い疾患
 - ✓ 腰部脊柱管狭窄症（変性すべり症）
 - ✓ 腰椎椎間板ヘルニア
 - ✓ 頸椎症性脊髄症
 - ✓ 頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症性神経根症
 - ✓ 脊椎骨粗鬆症
 - ✓ 脊柱変形
- ④ 特殊な手術
 - ✓ 内視鏡等を用いた低侵襲腰椎手術(椎間板ヘルニア、狭窄症)
 - ✓ 脊柱変形手術

3. 講義

【総論】

- 1) 神経診断
- 2) 脊椎・脊髄の解剖およびバイオメカニクス
- 3) 脊椎・脊髄の画像診断
- 4) 脊椎・脊髄手術器具の概要と使い方
- 5) 腰痛診断学概論
- 6) 脊椎・脊髄手術の合併症論

【各論】

- 1) 腰痛、腰椎椎間板ヘルニア
- 2) 腰部脊柱管狭窄症、すべり症、変性側弯症
- 3) 頸椎症性脊髄症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎 OPLL
- 4) 脊椎腫瘍
- 5) 脊椎骨粗鬆症
- 6) 脊柱変形
- 7) 脊椎外傷
- 8) 脊髄腫瘍
- 9) インフォームドコンセントの方法
- 10) 心因性偽脊椎障害の診断学

4. 研究指導**臨床研究**

- ✓ 症例報告は適宜
- ✓ 頻度の高い疾患について、フェローの希望を加味した研究を検討し実施する

基礎研究

- ✓ 立位全身アライメント・バランス